

Sagabi
News 74

74



報告

2019年度 教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。2019年度教学振興資金寄付金は古本募金も含めて92件、1,906,319円となりました。

また、各種奨学金制度の充実や、学生ホール内装及び什器・有響館3階教室什器・構内ベンチの更新などを実施し、在学生の学修環境の充実をさらに進めております。今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

嵯峨美古本募金さがりポンプロジェクト(2019年度)につきましては、皆さまの善意により、52,269円となり、図書購入費用として本学附属図書館の充実に活用させていただきました。

本学附属図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。今後ともご不要となりました本やCD、DVDなどございましたら、学内に設置の古本回収ボックス※1にご投函いただくか、もしくは5点以上を段ボール箱に詰めて、きしゃぼん(フリーダイヤル0120-29-7000またはweb申込フォーム<http://www.kishapon.com/sagagei/>)へ

お申し込みいただければ、送料無料でご希望日に宅配業者が集荷に伺いますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、2020年度の寄付のお願いにつきましては次号でお知らせする予定です。

2019年度 寄付者の方々(五十音順・敬称略)

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

あざかみ美術館	東 浩美	池谷 涼子	石本 次郎
稲野 和教	井上 範子	井上 正英	今井 萌乃
岩崎 昭彦	梅原 和弘	沖野 善則	奥 忍
小野山 亮平	金子 桂子	加野 亮一	近藤 洋子
嵯峨野株式会社	佐藤 一郎	佐藤 美幸	佐原 康之
白井 郁子	鈴木 由三子	瀬古 英生	高橋 俊三
高橋 フミ子	竹川 将樹	立川 吉孝	西田 節子
布谷 千勢	橋本 博行	平井 志保	藤岡 和也
藤原 啓治	藤原 愛	古畑 七重	松本 和夫
三崎 英人	美馬 義信	山口 茜	山崎 直子
山本 明紀	山本 敏史	吉村 憲治	脇田 慎司

※お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

※1 回収ボックスの設置箇所は、「管理棟1F事務局内」「C棟3F教育・機材SC前」「有響館B1図書館内」の3箇所となっております。

教育後援会総会報告

教育後援会では、毎年7月に総会および保護者懇談会を開催してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度はやむを得ず開催を見送ることいたしました。例年、総会でご審議いただいております。前年度事業報告並びに決算報告、役員交代、当年度事業計画並びに予算については書面による議決といたしました。1,095名の会員の皆さまに書面決議へのご協力を依頼した結果、484名の方々からご回答をいただき、右表の通り、各議案とも承認されました。今後とも皆さまにご意見をいただきながら、学生の諸活動を支援していく所存でございますので、引き続き教育後援会へのご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。(管理運営グループ)

	賛成*	反対	決議結果
議案1: 2019年度事業報告の件	483	1	承認
議案2: 2019年度決算報告の件	484	0	承認
議案3: 2020年度役員交代の件	484	0	承認
議案4: 2020年度事業計画(案)の件	483	1	承認
議案5: 2020年度予算(案)の件	482	2	承認

*賛成には採決を会長へ委任された方の人数を含みます。

(議決方法)

教育後援会会則第12条第2項「総会は、会員の6分の1の出席で成立し、議決は出席者の過半数をもって決定する。」を準用し、提出された各議案の有効回答数が会員数の6分の1以上であることを確認したうえで、議決はその過半数以上で決定。

2020年度オープンキャンパス、体験入学報告

前期オープンキャンパスを8月9日(日)、8月23日(日)に開催しました。検温やマスク着用など新型コロナウイルス感染症対策をふまえ、例年とは異なる事前予約制での実施となりました。

また、志望分野・領域の授業を体験できる体験入学を6月14日(日)に実施しました。

入学広報グループでは今後も広報活動や内容の充実に関心、多くの方に本学の学びを知っていただけるようにいたします。

2021年度入試では、総合型選抜I期体験授業型(旧AO入試)を9月22日(火・祝)に実施し、多くの方にご受験いただきました。総合型選抜II期体験授業型は、10月11日(日)に

行う予定です。また、今年度も「スカラシップ(特別奨学生)選抜」を11月と3月に2回実施します。本入試の合格者は特別奨学生として採用され、大学では総額200万円(年額50万円×4年間)、短期大学では総額100万円(年額50万円×2年間)の給付を受けることができます。(※継続審査有)(入学広報グループ)



佐々木正子学長考案

「テーブルマナー・マスク」

佐々木正子学長が食事時の新型コロナウイルス感染症対策として、手に持つマスク「テーブルマナー・マスク」を考案しました。8月25日(火)に京都市のホテルにおいて発表され、その様子はNHK等のテレビ番組や京都新聞にも取り上げられました。

「テーブルマナー・マスク」は市販のマスクを加工し、厚紙の持ち手をつけたシンプルなつくりで、耳にかける必要がなく片手で口元に添えることで会話中の飛沫を防止します。現在医学関係者の助言を受けながら改良を加えています。すでに複数の組織で使用が決定し、問い合わせも続いており、今後新たな産学連携に展開していく予定です。

「手に持つマスク」はどなたでも簡単につくることができ、詳しい作り方は本学Webサイトにも掲載しております。
(<https://www.kyoto-saga.ac.jp/news/52009>)

本件問合せ先: president-room@kyoto-saga.ac.jp
(学長室)



各種連携事業

京都市動物園との連携事業報告

「京都市動物園と嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学との教育及び研究に関する協定書」が結ばれ、連携も2年目となりました。この連携は動物園の目的=生物多様性保全(命の繋がりを守る)に対して美術、デザインの力で何ができるのか、に掛るところが大きいと感じています。

連携の取り組みの一つとして、現在3誌目を作成中の京都市動物園無料配布の定期刊行物「動物園だより」(年2回発行A4、8ページ)を紹介します。

こちらは動物園を訪れば誰もが手に取る、動物園の顔ともいえる印刷物です。発行部数も初版2万部、無くなり次第同量補充印刷と部数も多く、以前はその広い普及性に民間企業が文章も含めたデータの作成を寄付として発行していたものを、昨年より連携の事業として本学で引継ぎ担当しています。編集・データ作成は本学、文章・写真・印刷は動物園という分担で制作しています。

担当にあたっては、「365日命と向き合う職員の、飼育を通して伝えたい泥臭い気持ち」「重く専門的な話も含めた読者に媚びない今の生き物たちの現実」を、わかりやすい形で市民の皆さまにお届けしたいと、取り組んでいます。

そのため、担当者は何度も現場である動物園に足を運び、動物園職員の方との長い対話を通し、人に伝えるべき価値ある知識を汲み上げて、伝わる言葉、寄り添う気持ちでま

とめています。生き物の専門家ではない素人としての無知も大きな助けになります。

美術、デザインの力が、人に必要な生き物の知識を広く伝え広める助けとなる。それは、生物多様性の保全に貢献することにつながります。この取り組みは、公共施設のニーズと研究機関としての大学の連携としては理想的な形と捉えています。これからは楽しみです。

(嵯峨美術大学・池田泰子教授)



京都市動物園発行「動物園だより」

出版報告

河野隼也著

『きみのとなりにいるリアル妖怪図鑑』出版

児童書や実用書をメインに出版されている西東社から「新型妖怪図鑑を出版したい」という依頼を受けて、このたび、初の単著を刊行いたしました。本著は妖怪を撮影できるという「妖怪カメラ」で日常風景に潜む妖怪の姿を撮影し、その写真を紹介するという設定の妖怪図鑑です。「妖怪がいる現代の風景」が77種掲載されています。

筆者は本学の学生であった2005年から妖怪をテーマにした町おこしのイベントを手掛けています。平安時代の夜の都大路で妖怪たちが徒党を組んで行進したという「百鬼夜行」を再現する妖怪仮装行列をプロデュースしたことがそのきっかけなので、妖怪の衣装をデザインし制作することが、イベントのプロデュースと同じくライフワークになっています。本著に掲載されている妖怪画は、その大半が妖怪仮装イベントで使用した衣装を撮影し、背景と合成加工した物です。この合成加工の技術もイベントのポスターを制作する際に独自に研究したものです。また、メインの写真の隣には古典的なテイストのイラストが掲載されています。こちらは本学の卒業生であり現在はイラストレーターとして活躍されているさきゆうさん(Twitter⇒@shamo0301)に描いていただきました。彼女もまた在学時から妖怪イベントを共に手掛けてきたメンバーの一人です。本著はイベントを運営するにあたり培ってきた表現技術や人脈から生

まれたといえます。嵯峨美コンビの新型妖怪図鑑、是非お手に取っていただければ幸いです。(嵯峨美術大学・河野隼也講師)

河野隼也著 『きみのとなりにいるリアル妖怪図鑑』
西東社(2020年7月28日発売)



各種連携事業

三井寺妖怪ナイト

滋賀県大津市の三井寺では、春の桜や秋の紅葉に代わる夏の夜間拝観として、河野が主宰する妖怪藝術団体「百妖箱」の仮装妖怪を境内に配置し、お堂を妖しくライトアップするという「三井寺妖怪ナイト」というイベントを開催しています。「お寺の本気の肝試し」として人気を得ているこのイベントは今年で3年目を迎えます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み見送りも検討されましたが、地元からの強い要望で、マスク着用、検温、新型コロナウイルス接触確認アプリのダウンロードを行うなどの感染対策をしたうえで、8月1~3日の三日間に開催されました。百妖箱からは衣装の貸出、代表者である河野の現場立ち会い、当イベントのための妖怪フェイスシールドのデザインの提供という形で協力しました。

当日、日がとつぷり落ち、赤や青の妖しげな色でライトアップされた境内にて百妖箱の仮装妖怪たちが来場者を出迎えます。境内は子供の悲鳴と大人たちの笑い声が響きました。新型コロナウイルス感染症拡大による自

粛が続き、あらゆるイベントが中止を余儀なくされているこの状況下で、来場者は束の間のコロナ以前を思い出す夏の夜を楽しんだといえるでしょう。今年の三井寺妖怪ナイトで印象に残ったことは、来場者が感染対策にとっても協力的であったことです。運営スタッフと来場者が感染対策という点で互いに協力しながら一つのイベントを作り上げていくという現場体験からは、大変貴重な知見を得ることができました。

(嵯峨美術大学・河野隼也講師)



在学生の活躍

在学生受賞情報

2019年度後半期、2020年度前半期の各種コンテストなどで受賞・採用された在学生の情報を一部ですが紹介します。おめでとうございます。(敬称略)※学年は受賞当時のものです。

■「第10回阪急ええはがきコンテスト」
【最優秀賞(絵画部門)】
岩中そら(嵯峨美術大学デザイン学科1年次生)

■「第29回京都広告賞」
ポスター部門
【準グランプリ/京都広告協会賞】
玉井 佳奈(嵯峨美術大学デザイン学科3年次生)
【学生グランプリ】
野村 里菜(嵯峨美術大学デザイン学科3年次生)
【銅賞】
住田 菜々花(嵯峨美術大学デザイン学科2年次生)
新聞部門
【佳作】
納 花乃香(嵯峨美術大学デザイン学科3年次生)

■「京都デザイン賞2019」
【京都新聞賞】
小松 榛日(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)
【都鶴賞】
中澤 風花(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)
【京とうふ藤野賞】
山下 菜優(嵯峨美術短期大学専攻科デザイン専攻1年次生)
【学生賞(画箋堂賞)】
岩井 優(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)
【入選】
坂本 真唯(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)

徳重 心平(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)
水野 遼(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)
前田 杏樹(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)

■JAGDA「百人一首GRAPHIC展」
【金賞】
片桐沙耶香(嵯峨美術大学デザイン学科3年次生)
【銀賞】
乾 志帆(嵯峨美術大学デザイン学科3年次生)
【銅賞】
安永 佳乃子(嵯峨美術大学デザイン学科2年次生)

■「市民しんぶん 右京区版(6/15)」表紙イラストデザイン採用
山下 菜優(嵯峨美術短期大学専攻科デザイン専攻2年次生)

■「第8回チャリティー扇子デザインコンテスト」
【佳作】
大門由依(嵯峨美術短期大学デザイン分野2年次生)

■「令和2年京都府名誉友好大使」任命
関 子薔(嵯峨美術大学大学院1年次生)

■「渋谷ピクセルアート2020」
【Beyond Pixel Art賞】
山崎結子(嵯峨美術大学造形学科油画・版画領域4年次生)

※それぞれの詳細は本学Webトピックスにて紹介しています。

本学関係者による展覧会情報

金澤麻由子／嵯峨美術大学 造形学科 非常勤講師
新作絵本原画展示「さすらいのルーロット」 岡山会場

会期：9月27日(日)～10月13日(火)
 時間：10:00～18:00、休廊日/水曜・木曜
 会場：つづきの絵本屋(倉敷市川入694-7)

宇野和幸、大沼憲昭、池田泰子、北島文人／嵯峨美術大学 専任教員
「末景 2020 一手のひらのしずくー いのりとアート」

会期：10月10日(土)～10月18日(日)、拝観受付/16:00まで
 ※10月10日(土) 13:00～15:30 法要とトークイベント開催
 会場：御寺泉涌寺(京都市東山区泉涌寺山内町27)

附属ギャラリー、附属博物館展示休止および
 2020年度「生涯学習講座(9月～12月開講分)」中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の事態収束が見通せず、昨今の感染者数が増加傾向にあることから、附属ギャラリーおよび附属博物館での展示を当面のあいだ休止いたします。

また同じく新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、2020年度「生涯学習講座(9月～12月開講分)」につきましては受講生の皆さまの健康・安全面を第一に考慮した結果、中止する決断をいたしました。

展示や受講を楽しみにお待ちいただいた皆さまには、大変申し訳ございませんが、なにとぞご了承くださいますようお願いいたします。
 (社会連携・研究支援グループ)

大学関連行事予定 Sep.2020 — Dec.2020

9月	14日(月)	前期集中授業
	10月3日(土)	
10月	2日(金)	定期健康診断
	5日(月)	後期授業開始
	11日(日)	総合型選抜Ⅱ期(体験授業型)
	17日(土)	大学院選抜(前期) ※社会人、留学生含む 専攻科選抜(前期)
	18日(日)	3年次編入学選抜(前期) ※留学生含む
	25日(日)	オープンキャンパス
	28日(水)	前期卒業式
11月	3日(火・祝)	学校(指定校)推薦型選抜
	7日(土)	総合型選抜Ⅲ期(実技試験型) ※本学・岡山で実施
	8日(日)	スカラシップ選抜(前期) ※本学・岡山で実施
12月	6日(日)	外国人留学生特別選抜 海外帰国生選抜 社会人選抜
	29日(火)	年内最終授業日
	30日(水)	冬季休業
	1月4日(月)	

※大学関連行事は都合により内容や日程を変更する場合があります。

照柿色
Sho-ki-iro

照柿(てりがき)とは、赤みがかった濃い橙色で、熟した柿の皮の色に似ています。柿のつく色名には、照柿のように柿の実の色からきているものと、柿渋の色からきているものがあり、それぞれ色調が異なります。ちなみに、この照柿の色が薄いものを洗柿(あらいがき)といいます。



学校法人 大覚寺学園
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
 TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <https://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第74号 2020年9月30日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
 発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

